

# 美郷町教育振興基本計画全体図

基本理念

基本方針

基本目標

具体的な施策・事業

美郷町を担う心豊かな人づくり

I 社会を生き抜く力の育成

- ① 幼児期から小・中学校段階において「自ら学び、考え、行動する力」を確実に育てる。
- ② 夢に向かって主体的に学ぼうとする力を育てる。

## ●学ぶ力、学んだ力

「知識、技能」と「思考力、判断力、表現力、問題発見・解決力など」の「学んだ力」に加え、「学習意欲、知的好奇心、学習計画力など」の「学ぶ力」を身につけさせる。

- 基礎基本の定着のための環境整備
- 学力育成策と授業の改善（PDCAサイクル）
- 教職員の指導力向上
- 基本的な生活習慣の定着や家庭学習の習慣化
- 学校マネジメントの強化

## ●情報活用能力

情報活用能力を育成し、情報化社会に伴う様々な課題について、教職員、子どもたち、保護者の共通理解を図る。

- ICT機器や学校図書館の活用
- 教職員の情報リテラシー、ICT活用能力向上
- 情報モラルの育成、情報社会の危険から子どもたちを守る取組の推進

## ●意欲、たくましさ

学ぶことと生きていくこと（働くこと）を関連付け、学ぶ意欲を高める。予期しなかった問題に直面しても自分で考え、行動しようとする気力や物事に取り組む意欲の源である体力を培う。

- キャリア教育の推進
- 小・中学校における様々な体験活動の推進
- 学校・家庭・地域が連携した体力向上・健康増進
- 様々な読書活動の推進
- いじめや不登校がおきにくい学校づくり、いじめの早期発見と適切な対応

II 未来を担う人材の育成

- ① 多様な人と積極的に関わり、社会に役立つ人育てる。
- ② 自他を等しく大切に、共に生きようとする人育てる。

## ●美郷町への愛着と理解

恵まれた教育資源を積極的に活用し、地域を支える次世代の人材を育成する。

- ふるさと教育の充実
- 地域課題解決に取り組む実践者の育成
- 文化財の保存と次世代への継承
- 文化活動の啓発、支援

## ●自尊心、思いやり、規範意識

力を合わせたり、時にはぶつかったりするなどの体験の場を意図的に設定し、相手を思いやる心やルールを守ろうとする意識、自分への信頼感や自信を培う。

- ふるまいの推進
- 社会や他者に対する配慮や規範意識の育成
- 交流体験活動の実施

## ●人権意識、生命の尊重

人権感覚の育成を図り、すべての人々の人権が真に尊重される社会をめざす。自分以外の生命や自然などに対する畏敬の念を培う。

- 人権問題に関する学習機会の提供
- すべての子どもたちに対する進路保障の取組の充実
- いじめの起きない地域風土の醸成
- 安全教育や食育の充実

III

絆づくりと活力ある  
コミュニティの形成

- ① 家庭や地域のネットワークを広げ、互助・共助による活力あるコミュニティを形成する。
- ② 地域力を活かした子育て支援、学校支援等に取り組むための体制づくりや気運の醸成を進める。

## ●子どもたちの学びを支援する取組の推進

子どもたちの学びを支援するための体制を整備し、地域コミュニティの形成につなげていく活動を支援する。

- 地域全体で学校教育を支援する気運の醸成
- 放課後児童クラブ、放課後子ども教室の開催
- 子どもたち一人一人の教育的ニーズへの対応と障がいの有無によって分け隔てられることなく学ぶことのできる環境の整備

## ●学びの場を拠点にした地域コミュニティ形成の推進

生きがいづくりや仲間づくりを支援し、地域課題解決のための学習や地域活動の支援等を行うことで地域コミュニティ形成につなげていく取組を推進する。

- 地域住民の地域課題に対する理解の深化
- 仲間づくり、生きがいづくり
- 経験豊富な高齢者を地域貢献に活かす取組の推進
- スポーツを通じた活力ある地域づくり

## ●豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実

豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、親子の育ちを応援する取組を推進する。

- 子育ての不安や悩みを解消する取組の充実
- インターネット使用の危険性や情報化に対応するための家庭教育力の向上
- ワークライフバランスの土台となる生活習慣づくり